

議案審議

■第1回臨時会（2月）に市長から提出された議案は、条例に関する議案4件、補正予算案6件、専決処分の報告1件、あわせて11件を可決・承認しました。

■第1回定例会（3月）に市長から提出された議案は、新年度予算案7件（6〜9ページ）のほかに、条例に関する議案14件、補正予算案8件、その他の議案5件、あわせて34件を可決しました。

■審査した陳情5件は、1件が採択、1件が不採択、3件は趣旨採択となりました。
主な議案の概要は次のとおりです。

※内容は要約しています。
詳細はインターネット録画継でご覧いただけます。

2月2日、3月10日、
3月26日をご覧ください



市長提出議案

羽村市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の税率などを改定しました

【主な内容】

国民健康保険税の適正化を図ることを目的とした保険税率の改定並びに税制改正により新設された子ども・子育て支援納付金分の税率等を規定するため、条例の一部を改正する。

（1）国民健康保険税率等の改定
（2）子ども・子育て支援納付金分
国民健康保険税率等の新設

（3）国民健康保険税の課税限度額
の見直し

（4）国民健康保険税の軽減措置の
拡大

【施行日】 令和8年4月1日
【議決結果】 原案可決

質疑

Q 全体の値上がり率が7・3%となっている。東京都は令和18年度に保険料水準の完全統一を予定しているが、今後、何%の改定を行っていくと考えているか。

A 2年に1度、同程度の改定をしていく予定である。

討論

【反対】 被保険者に所得の低い方が多い国民健康保険税の税率を引き上げるものであり、反対。

（日本共産党）
【賛成】 健全な国民健康保険制度の運営のために、引上げはやむを得ないものであると考え、賛成。

（新政会）

羽村市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

事業者が「ごども誰でも通園制度」の給付を受けられるよう、運営の基準を定めました

【主な内容】

令和7年度に制度化された「乳児等通園支援事業」が、令和8年度から新たに給付化されることに伴い、事業者が給付を受けるため

に、子ども・子育て支援法に基づく確認を行う基準となる条例を制定する。

【施行日】 令和8年4月1日

【議決結果】 原案可決

羽村市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内閣府令に合わせ、条例の文言を一部改正します

【主な内容】

「乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令」の施行に伴い、条例を一部改正する。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 改正による変化は。

A これまでは、年齢区分ごとに利用定員を設定していた。改正により年齢区分がなくなり、柔軟な受入れが可能となる。

市道第2002号線電線共同溝整備事業に関する業務委託契約について

羽村駅前中央通りの無電柱化へ、委託契約を結びます

【主な内容】

市道第2002号線電線共同溝整備事業に関する業務を委託するため契約を締結する。

【契約の目的】 市道第2002号線電線共同溝整備事業に関する業務委託

【契約の方法】 随意契約

【契約の金額】 5億836万5000円

【契約の相手方】 公益財団法人東京都道路整備保全公社

【委託期間】 令和8年3月16日から令和11年3月31日まで

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 工事の箇所は児童の通学路にもなっている。工事を行う時間帯と安全対策は。

A 基本的には、昼間の時間帯に工事を実施する。通常の工事同様、周知等に努めていく。

令和7年度羽村市一般会計補正予算(第11号)

スイミングセンターのプール工事等を計上しました

【主な内容】

歳入歳出それぞれ207万7000円を増額し、補正後の予算額を279億9999万9000円とする。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 25mプールの循環ポンプ修繕の工事期間と再開時期は。

A 工事期間は2〜2か月半程度を見込んでいます。工事時期に合わせて再開時期も変動する。

Q 循環ポンプの故障は予測できなかったのか。

A 令和8年度に更新予定であった。設置から12年が経過しており、6月に実施した業者点検では異常なかった。

第 1 回臨時会(2月)の議決結果

■全会一致となった市長提出議案

件名	議決結果
専決処分の承認を求めることについて〔令和7年度羽村市一般会計補正予算(第8号)・令和8年1月20日専決〕	原案承認
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
羽村市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	
羽村市長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	
議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
令和7年度羽村市一般会計補正予算(第9号)	
令和7年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	
令和7年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第3号)	
令和7年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第2号)	
令和7年度羽村市水道事業会計補正予算(第3号)	
令和7年度羽村市下水道事業会計補正予算(第2号)	

第 1 回定例会(3月)の議決結果

■令和8年度当初予算 → P6～9

件名	会派名(数字は人数)									本会議での議決結果
	新	公	令	共	ネ	都	世	つ	双	
羽村市一般会計予算	(5)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	原案可決
特別会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
羽村市国民健康保険事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
羽村市後期高齢者医療会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計予算	○	○	×	×	×	○	×	○	○	
公営企業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■賛否の分かれた議案

件名	会派名(数字は人数)									本会議での議決結果
	新	公	令	共	ネ	都	世	つ	双	
羽村市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 → P10	(5)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	原案可決
	○	○	○	×	○	○	×	○	○	

凡例

■各会派の賛否■

議案／

○…賛成

×…反対

陳情／

○…採択

×…不採択

□…趣旨採択

■会派名■

新…新政会 公…公明党 令…令和かがやき 共…日本共産党 ネ…市民ネットワーク

都…羽村市議会都民ファーストの会 世…世論 つ…つながる力 双…双葉会

■全会一致となった市長提出議案

件名	議決結果
羽村市行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決
羽村市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
羽村市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	
令和8年度における羽村市長の給料等の特例に関する条例	
羽村市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
羽村市税賦課徴収条例及び羽村市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	
羽村市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 → P11	
羽村市介護保険条例の一部を改正する条例	
羽村市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例	
羽村市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例	
羽村市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 → P11	
羽村市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	
令和7年度羽村市一般会計補正予算(第10号)	
令和7年度羽村市一般会計補正予算(第11号) → P11	
令和7年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	
令和7年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第3号)	
令和7年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第4号)	
令和7年度羽村市水道事業会計補正予算(第4号)	
令和7年度羽村市下水道事業会計補正予算(第3号)	
令和8年度羽村市一般会計補正予算(第1号)	
市道第2002号線電線共同溝整備事業に関する業務委託契約について → P11	
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について	
損害賠償額の決定及び和解について(3件)	

■陳情

件名	審査した委員会	会派名(数字は人数)									本会議での議決結果
		新	公	令	共	ネ	都	世	つ	双	
		(5)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
横田基地での米軍によるパラシュート降下訓練の全面停止を求める陳情書	総務委員会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	趣旨採択※
政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	×	×	<input type="checkbox"/>	×	<input type="checkbox"/>	×	採択
審査請求事案の諮問遅延に関する実態調査の実施・事務処理の迅速化、および担当職員の負担軽減措置を求める陳情		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	趣旨採択
学校統廃合に係る住民説明会音声データの不適切な廃棄に関する陳情		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	趣旨採択
羽村市水道事業における不当利得の疑義解明を求める陳情	環境まちづくり委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

※趣旨採択を求める討論と採決(採択)を求める討論があり、まず趣旨採択を諮った結果、賛成多数で趣旨採択と決定しました。

般 質 問

一般質問とは、議員が市の施策の全般について質問することです。

第1回定例会では、

3月3日、4日、5日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁にある施策の内容は、3月時点のものです。



《Q》「部活じまい」に関するロードマップの策定を

《A》令和9年度末を目途に「TEAMはむら」を全面实施



野崎 和也 議員（新国会）

『部活じまい』という

視点での

部活動地域展開について

質問 「部活じまい」に関

するロードマップを策定す
べきでは。

教育長 令和9年度末を目
途に地域クラブ活動団体

「TEAMはむら」の全面
実施を目指していく。

質問 市内中学校の部活動
備品について、今後の取扱

い方針について伺う。

教育長 部活動地域展開後
の備品の扱いは、各団体や

保護者の負担軽減の観点か
ら、中学校から無償で貸与

することとする。

質問 地域展開により、低
所得世帯の生徒が参加でき

なくなる事態を避けるため

の具体的な支援制度は。

教育長 「羽村市地域クラ
ブ活動団体補助金」を立ち

上げ、地域展開した団体の
活動に要する費用の一部に

ついて、補助を行っている。

第六次

羽村市長期総合計画の

後期基本計画策定について

質問 市民が主体的に地域
づくりを行うために必要な

計画であることから、行政
が「やること」を並べる計

画ではなく、市民と共に
「まちをつくるための羅針

盤」へと転換することが必
要では。

市長 市民・団体・事業者
と行政が、適切な役割分担

の下に連携しながら、市民
と将来のビジョンを共有し、

共にまちづくりを進める羅
針盤であると認識。この考

えの下、現在、後期基本計
画を策定している。

地域展開に関するパンフレット



《Q》都営水道への事業統合について市の意向は

《A》事業統合による経営の広域化が必要と判断



櫻沢 裕人 議員 (新政会)

市営水道事業の将来像

質問 令和8年1月28日、市は東京都水道局長に対して、都営水道への事業統合に関する要望を行った。

要望書の提出は、市として都営水道への事業統合の意向を公に表明したもので、また、社会経済活動を維持するために水が必要不可欠である限り、健全な経営により安全な水を安定供給し続けることが、水道事業者の最も重要な責務である。様々な課題や現状を総合的に勘案し、将来にわたって安定かつ持続可能な水道サービスを市民に提供し続けるためには、経営基盤の強化が不可欠であり、都営水道との事業統合による経営の広域化が必要と判断した。事業統合には乗り越えなければならない様々な課題があり、相当程度の期間を要すると想定する。

将来を見据えた街路樹の維持管理・更新

質問 限られた人材で大量の街路樹を維持管理・更新するためには、長期的な視点に立ち、街路樹に特化した計画の策定が必要と考えるが、市の見解は。

市長 他の自治体では、「街路樹更新計画」や「街路樹マネジメント方針」などを策定していることは承知している。先進事例を参考に街路樹に関する計画について、調査・研究する。



街路樹により歩行スペースが狭くなっている歩道



《Q》スポーツセンターは改修か、建替えか、移転か

《A》現時点では明確にお答えすることは困難



中嶋 勝 議員 (公明党)

スポーツセンターの

日影規制抵触について

25年前の羽ヶ上土地区画整理事業による敷地形状の変更時に建築基準法との関係を見逃したことが原因となり、日影規制に抵触していることが判明した。

質問 今後の対応は、改修か、建替えか、それとも他の場所への移転になるのか。それぞれ予算規模と期間も含めてどうするのか。

市長 現時点では、具体的な対応策や予算規模、改修期間について、明確にお答えすることは困難である。

市長 是正措置を講じるまでの間、第2ホールは落下防止対策を実施し、5月中旬を目途に貸出を再開する。近隣自治体の体育館、都立羽村特別支援学校の体育館、加えてフレッシュランド西多摩敷地内にある体育施設の予約方法等の案内を丁寧に行っていく。

公共施設再配置について

市は、公共施設再配置構想の策定を6か月延期した。

質問 この6か月で更に意見聴取するため、市民会議やワークショップ、シンポジウム等を実施しては。

市長 今後、修正した案を公表した上で、改めて様々な方法での意見聴取を検討していく。

■その他の質問

照明LED化計画について／災害関連死認定の規定について



日影規制に抵触していることが判明したスポーツセンター



《Q》施設統合後の災害時に使用する資機材の保管場所は
《A》可能な限り区域内で確保できるよう検討する



富松 崇 議員 (新政会)

公共施設再配置構想

について

質問 地域集会所施設が統合し、利用する施設が町内会・自治会のエリア外となった場合、災害発生時に使用する資機材の保管場所や一時集合場所はどうか。
市長 防災体制に影響を与えないよう、十分な配慮が必要であると認識している。防災資機材の保管場所や災害時の一時集合場所については、町内会・自治会の意向を確認し、地域集会所施設の再配置後も、活動区域内で可能な限り保管場所を確保できるよう、公有地の活用や他の公共施設との複合利用なども含めて検討する。

工事・物品購入等、

契約事務などについて

質問 業務効率化の観点からも、事業者が来庁することなく依頼・提出ができるような工夫が必要では。
市長 参考見積りについては、メールやFAXでの提出など柔軟に対応している。一部の契約事務は来訪を求めめる場合があるが、事業者の事務負担軽減について引き続き研究していく。
新たな歳入の確保について
質問 庁舎内や市内公共施設で不要となった備品などをフリーマーケットサイトで販売してはどうか。
市長 再利用の推進を図るとともに、売却による歳入の確保や廃棄コストの抑制に努める。フリーマーケットサイトの活用については、既に取り組んでいる自治体の事例を参考に、費用対効果を検証するとともに、調査・研究していく。



羽村市公共施設再配置構想 (たたき台 ver.2)

■その他の質問
防犯対策について



《Q》公共施設再配置構想策定延期。検討の深め方は
《A》多くの市民が参加しやすい意見聴取の方法を検討



浜中 順 議員 (日本共産党)

公共施設再配置構想の

策定期間の半年延期に伴い、

市民の意見を丁寧に聞き取り、使い勝手の良い施設となるよう検討を

質問 市民への意見聴取と更に検討を深める方法を、市はどう考えているか。また、施設ごとに検討する会を数多く開いては。
市長 施設ごとに意見聴取の場を設けることはせず、利用者も含め、多くの市民が参加しやすい意見聴取の方法を検討する。
質問 子供の居場所への要望が高まっている今、3館ある児童館全てを存続する検討も必要では。
市長 子供の居場所づくり



公共施設再配置構想のたたき台では廃止の方向性が示された中央児童館

は非常に大切な取組である。児童館だけではなく、既存の公共施設の活用を図り、そうした機能を市域にバランスよく配置していくことが望ましいと考えている。

羽村市水道事業を

東京都水道事業に統合するための課題について

質問 水道料金はどうか。また、羽村のおいしい水は存続できるのか。
市長 全国的にも、小規模な水道事業体は近い将来事業運営に限界が生じると言われている。都は広域水道として経営基盤の強化を図り、健全な経営を行っている。都営水道との事業統合により持続可能な水道サービスができるかと考えている。市の水道事業への具体的な影響は、今後、明らかになっていくと捉えている。

■その他の質問
不登校傾向の児童・生徒のための校内別室指導はどう取り組んできたか



《Q》気軽に認知症機能が確認できる仕組みの導入を

《A》まだ事例が少ない。調査・研究していく



金子 ひとみ 議員 (公明党)

認知症・※MCIは

早期対応が重要

質問 認知症は早期の気づきと対応が重要である。電話を活用し、自宅から気軽に認知機能を確認できる仕組みの導入について、市の考えは。

市長 電話による認知機能チェックは導入事例が少なく効果の把握が難しいため、先進事例を調査・研究していく。

ジェンダーギャップの解消について

兵庫県豊岡市では、人口減少対策としてジェンダーギャップ解消の取組を進めている。

質問 若者や女性が住み続



電話による脳の認知機能チェック

けたいと思えるまちづくりのため、市でも就労支援や働き方に関する施策にジェンダーギャップ解消の視点を反映させるべきでは。

市長 女性の就業継続や職場復帰の支援、ハローワークと連携したセミナーの実施などに取り組んでいる。今後も市内事業者と連携し、ジェンダー平等、男女共同参画を推進する取組を進めていく。

重層的支援体制整備事業について

質問 子ども食堂やオレシカフェ等、地域の居場所づくりの取組を、重層的支援体制整備事業の中でどう生かしていくのか。

市長 既存の地域資源は重要な基盤であると認識している。地域の居場所づくりや各団体間の交流・連携を促進する支援を実施していく。

※MCI：軽度認知障害。認知機能低下の自覚があるが、日常生活は問題なく送ることができている状態のこと。



《Q》「はむらん」土日等運行取り止めに早急なフォローを

《A》既存施策の実行で一定の支援が図られている



石居 尚郎 議員 (公明党)

移動に困難を抱える方と公共交通の在り方について

質問 「はむらん」の土日・祝日運行取り止めにに対し、他自治体を実施しているデマンド交通の検討や、羽村市が実施している障がい者のタクシー費用助成制度の対象者を高齢者等に拡充するなど、早急なフォローが必要ではないか。

市長 「はむらん」の運行に併せて、既存の施策を実施することにより、移動困難者への一定の支援が図られているものと認識している。

子どもを取り巻く支援体制の強化について

質問 「児童発達支援センター」の開設を契機として、教育・福祉・保健の連携を強化し、日野市のような包括的な支援体制を構築しては。

市長 令和8年3月6日に、社会福祉法人が運営する「児童発達支援センター」の連携に関する協定を締結する予定である。地域における幼児教育・保育、学校教育、療育等の一層の充実を図り、地域全体の福祉の増進と子供をまんなかに据えた社会の実現に向け取り組む。

都営水道への事業統合に関する市の方針について

質問 市民への説明責任と情報提供をどのように果たしていくのか。

市長 市民の皆様の御理解を得ながら事業統合に向けた協議を進める。



令和8年4月から土日・祝日、年末年始の運行を取り止めたコミュニティバス「はむらん」



《Q》フレッシュランド西多摩「よつ葉の湯」の活用を
《A》観光振興を通じた市の発展に繋がるよう取り組む



秋山 義徳 議員 (新国会)

羽村市の観光政策の活性化に向けたフレッシュランド西多摩「よつ葉の湯」との連携について

連携について

質問 フレッシュランド西多摩「よつ葉の湯」のオープンには、市をPRする上でも絶好の機会であると考えられる。そこで、羽村市の発展のため、どのように連携し、活用していく考えか。

市長 この機会を好機と捉え、観光振興を通じた市の発展に繋がるよう、取り組んでいく考えである。具体的には、市公式サイト、SNSを活用した施設情報の発信のほか、羽村市観光協会と連携し、観光パンフレットへの掲載等、市内外へ



2月1日リニューアルオープンしたフレッシュランド西多摩「よつ葉の湯」

のPRを行っていく。更に、本施設を含めた観光ルート整備や、市内の他の観光資源との連携等、波及効果のある取組についても、今後、検討を進めていく。

公共施設再配置について考える

質問 第1期にあたる武蔵野小学校と松林小学校、羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合について、いっどのように結論を出すのか。

教育長 「公共施設再配置構想」の策定をもって実施を決定するものと捉えている。「公共施設再配置構想」策定後、それぞれの統合について、具体的な実施内容やスケジュール等を定めた「個別再配置計画」を策定していく。この4校については、「公共施設再配置構想」の第1期が終わる令和12年度頃までの統合を予定している。



《Q》防災訓練で得た知見や経験を冊子にする予定は
《A》知見等を踏まえ、災害時のマニュアル等を作成する



高田 和登 議員 (つながる力)

令和7年度東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練について

質問 同様の大規模な防災訓練の実施は、しばらくないと思われる。今回の知見や経験を冊子にまとめる予定は。

市長 訓練で得た知見や気づきを踏まえ、災害時における業務別のマニュアルや手順書を作成する考えであり、今後の防災訓練でも活用する。また、東京都においても、実施報告書を取りまとめている。

質問 訓練が行われた宮の下運動公園への見学者の移動手段として、臨時巡回バスを2台にするなどの対策が必要だったのでは。

市長 バスの運行本数が足りなかったこと、また、バス停の案内が不足していたことにより、観覧にいられた方々には御不便をお掛けした。このことは東京都と情報共有した。

羽村中央駅(仮称)構想について

質問 羽村駅と小作駅は約2・4km離れている。中間にJRの駅を設置しては。

市長 新駅設置について検討する考えはない。
質問 公共施設再配置構想において、「縮充」というポジティブな発想を取り入れ、廃止した施設の跡地に、市民ニーズを満たした新しい施設を建設しては。
市長 基本的な方針を踏まえつつ、新たな施設を建設し集約していくことも一つの選択肢として検討する。また、跡地の民間による活用も検討する。

合同総合防災訓練のポスター

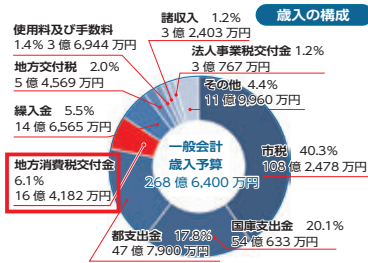


《Q》減税になる場合、どこに代替財源を求めるか

《A》国に代替となる恒久財源の確保を働きかける



馳平 耕三 議員 (令和かがやき)



都が国から交付された地方消費税は、2分の1に相当する額が地方消費税交付金として市区町村に交付されている

質問 年収の壁の見直しや食料品の消費税が非課税と

質問 年収の壁が160万円、178万円になる場合のそれぞれの市の減収額は、

市長 160万では約400万円、178万では約7900万円の個人住民税

減収想定額では、消費税廃止の場合は14億5350万8000円、食料品非課税の場合は2億4000万円程度と見込んでいます。

市長 地方消費税交付金の減収想定額では、消費税廃止の場合は14億5350万8000円、食料品非課税の場合は2億4000万円程度と見込んでいます。

質問 消費税の廃止や、食料品の消費税が非課税となった場合の市の減収額は。

年収の壁、消費減税による減収の影響と対応は

■その他の質問
テレビはむらの見直しを／魅力ある近未来型市役所を作ろう

質問 年収の壁の見直しや食料品の消費税が非課税と

質問 年収の壁が160万円、178万円になる場合のそれぞれの市の減収額は、

市長 160万では約400万円、178万では約7900万円の個人住民税

減収想定額では、消費税廃止の場合は14億5350万8000円、食料品非課税の場合は2億4000万円程度と見込んでいます。

市長 地方消費税交付金の減収想定額では、消費税廃止の場合は14億5350万8000円、食料品非課税の場合は2億4000万円程度と見込んでいます。

質問 消費税の廃止や、食料品の消費税が非課税となった場合の市の減収額は。

質問 消費税の廃止や、食料品の消費税が非課税となった場合、市はどこに代替財源を求めるのか。また、歳入、歳出のバランスをどう確保する考えか。

市長 市税や地方消費税交付金は、市の歳入の根幹をなす重要な一般財源であり、様々な事業の実施に活用している貴重な財源である。これらの財源が失われると市の財政運営は極めて厳しい状況に直面する。

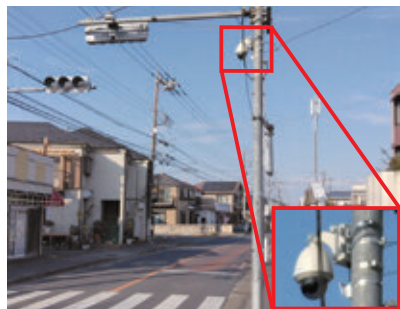


《Q》双葉町内に防犯カメラは設置されているか

《A》双葉町3丁目9番付近の交差点に設置



菅 勇真 議員 (双葉会)



双葉町の区域に設置されている防犯カメラ

質問 現在市内には何台の防犯カメラが設置されているのか。

市長 双葉町の区域には1台設置している。小中学校PTA連合会から、通学路の危険箇所として設置要望のあった双葉町3丁目9番付近の交差点に、令和7年12月に街頭防犯カメラを設

置した。

質問 不登校の中学3年生及び保護者に対し、高校の情報、入試対策、面談等について、どのような取組を行っているのか。

教育長 不登校の状況にある生徒及び保護者は、進路選択について不安を抱えていることから、面談や家庭訪問を密に行い、対話を重ね、不安の解消と望ましい進路選択の実現に努めている。

近年、進路先の上級学校等が多様化するとともに、入学試験に関しても不登校生徒へ様々な配慮がなされるようになってきている。各中学校は、こうした情報を随時入手し、不登校生徒とその保護者に提供するとともに、入学試験に作文や面接が課される場合には個別指導を徹底するなど組織的な対応を行っている。

市民の声について

